



意外と知らない歯の健康知識

ひどい「いびき」に要注意 睡眠時無呼吸症候群の可能性も

日本の中高年男性の約10%の人がいびきをかき、その約10%が睡眠時無呼吸症候群の疑いがあると言われております。様々な病気を誘発する恐れもあるという睡眠時無呼吸症候群について、藤田歯科の藤田院長にお話しいただきました。

この先生に聞きました!



藤田歯科
藤田 淳院長
1999年大阪大学歯学部卒。小室徳科天王寺ミオ診療所副院長を経て、2009年12月藤田歯科開院。日本口腔インプラント学会会員。

睡眠時無呼吸症候群 (SAS)とは

睡眠時に大きないびきをかいたり、日中に強い眠気に襲われたりすることはありませんか。睡眠時無呼吸症候群 (SAS)は、睡眠中に舌や上顎奥の粘膜が緩み一時的に気道が閉塞されるため、呼吸が停止する病気です。呼吸の停止により脳が酸素不足を感じて呼吸を回復するために一時的な覚醒を即すので、窒息が、この無呼吸状態を一夜に何度も繰り返し起こすことで、睡眠不足から様々な症状が生じます。最近の研究で、糖尿病や高血圧、脳卒中、心臓病などの合併症を引き起こすことも明らかになっています。

患者には女性や痩せた人も

睡眠時無呼吸症候群 (SAS)は、生活環境の変化により国内でも約20万人以上の潜在的な患者が存在し、増加傾向にあるといわれています。しかも、患者さんの典型とされてきた「太った男性」とは関係なく、患者さんには女性や痩せた人も増えています。その原因は「小さいあご」。通常、舌の根っこにつく脂肪などで気道がふさがり、空気が通らなくなってしまう。しかし、小さいあごの人は、元々口の中の容積が小さく、舌が奥へと押しやられてしまうため、少し太っただけでも簡単に気道が塞がってしまうのです。

快適な上下分離型口腔内装置 ソムノデントMAS

治療はCPAP治療 (持続陽圧呼吸療法) や、口腔内にマウスピースを装着して下顎を前に出し、睡眠中の気道の閉塞を防止する口腔内装置による治療などがあります。口腔内装置は大きく分けると健康保険適用の一体型と適用外の上下分離型の2種類。当院は保険適用の一体型装置のほか、関西では6医院しかないソムノデント社の認定歯科医療機関として、より快適さを求めた同社の上下分

離型口腔内装置「ソムノデントMAS」(適用外)の治療も行っています。「ソムノデントMAS」は他の治療に比べ、身体への負担が少なく、自由に口が開けられるので快適に装着できます。睡眠時無呼吸症候群は、居眠り運転などで事故やトラブルを引き起こす可能性もある社会的な問題となる病気です。診断は内科などで検査を受ける必要がありますが、当院でも専門病院の紹介と予約を行っています。お気軽にご相談ください。



患者さん個々の歯列にあわせてカスタマイズされた装置で、手のひらに乗るほど軽量、コンパクト。上下が完全に分離して会話や水を飲むのも自由にできる。入れ歯の方でも装着可能です。

<装置を装着された患者さんの声>

自覚症状	他覚症状 (その他)
<ul style="list-style-type: none"> 夜中にトイレに行かなくなった 起床時に頭痛がなくなった 熟睡感もどった 居眠り運転をしなくなった 昼寝をしなくなった 肩こりがなくなった 体調がよくなった 	<ul style="list-style-type: none"> 「いびき」をかかなくなった 無呼吸がなくなった 奥さんと一緒にの部屋で寝かせてもらえるようになった 人生に希望がわいてきた もっと早く知っていたら、主人を亡くさずにすんだ

藤田歯科 よつばインプラントセンター
TEL.0798-57-5418 (予約制)
宝塚市仁川北2-2-18 北式丁目館1F
診/平日9時半~13時、14時半~19時半
土曜9時半~13時、14時半~17時半
(受付はそれぞれ診療終了時間の30分前まで)
休/木曜・日曜・祝日 駐車場有り
※ただし、祝日のある週は木曜も平日と同時間で診療いたします
<http://www.fujitadental.net>